施主様用

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

折戸用網戸

もくじ

1.安全のために必ず守ってください……1
2.各部の名称 ……2
3.使用方法 ……3
3-1 網戸本体の取外しと取付け……3
3-2 各種調整……4
3-3 異音発生時のお願い ……7
3-4 製品のお願い ……7
4.お手入れについて……8
5.修理を依頼する前に ……8
6.修理 ……9

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

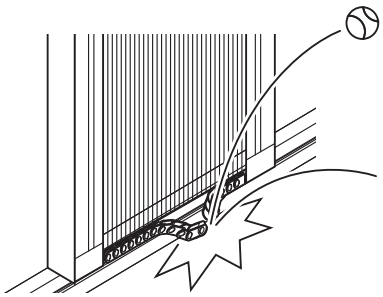
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

UZ232_201108B

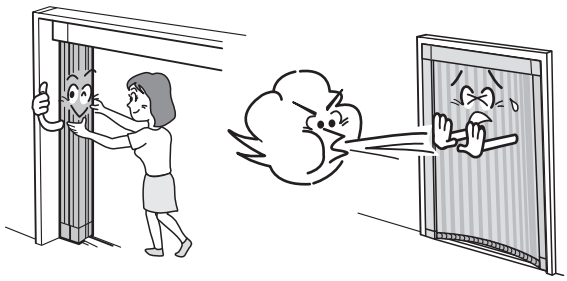
1　安全のために必ず守ってください

⚠注 意



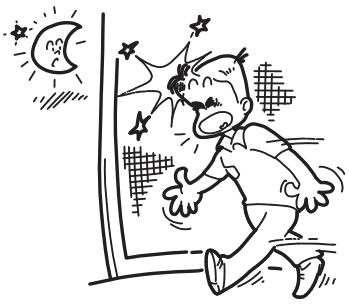
●キャタピラや下レールに強い衝撃をあたえないでください。キャタピラがはずれ網戸パネルが破損してケガをするおそれがあります。

⚠注 意



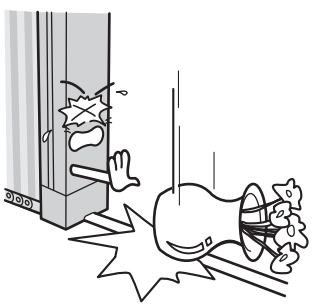
●網戸脱落のおそれがありますので、下記の事項をお守りください。
・網戸を取付けた後、網戸の収納枠を引いて、アンカープレートから外れないことを確認してください。
・風速10m以上の強風時には、使用しないでください。

お願い



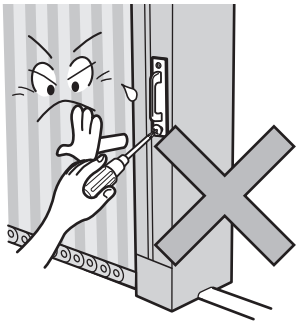
●夜間は網戸が見えにくくなります。ぶつからないようにご注意ください。

お願い



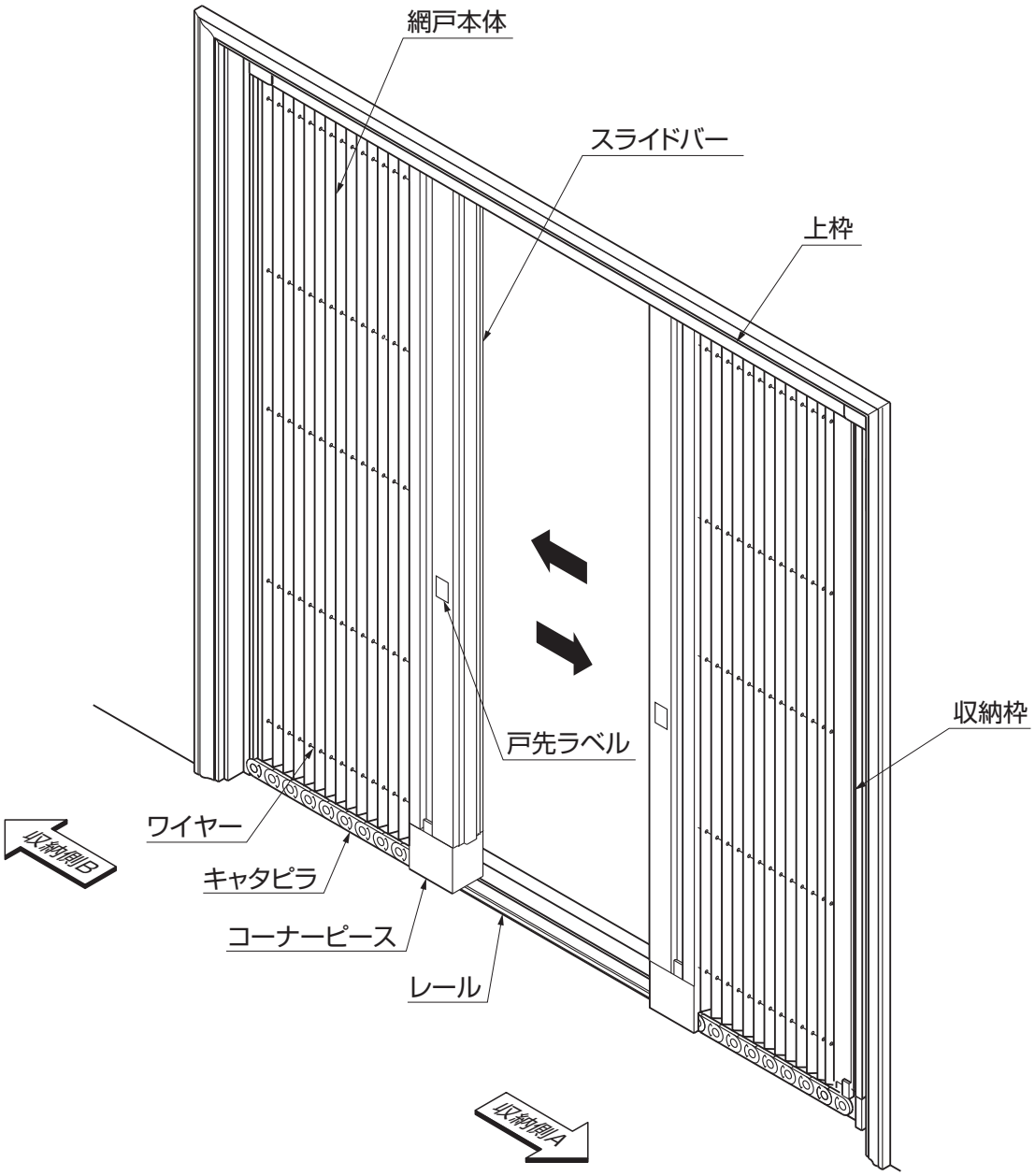
●レールには衝撃を与えたり硬い物を当てないでください。変形・破損の原因になります。

お願い



●スライドバーに把手や錠をネジ止めしないでください。ネジがキャタピラに当たって動かなくなるおそれがあります。

2　各部名称



3　使用方法

3 - 1　網戸本体の取外しと取付け

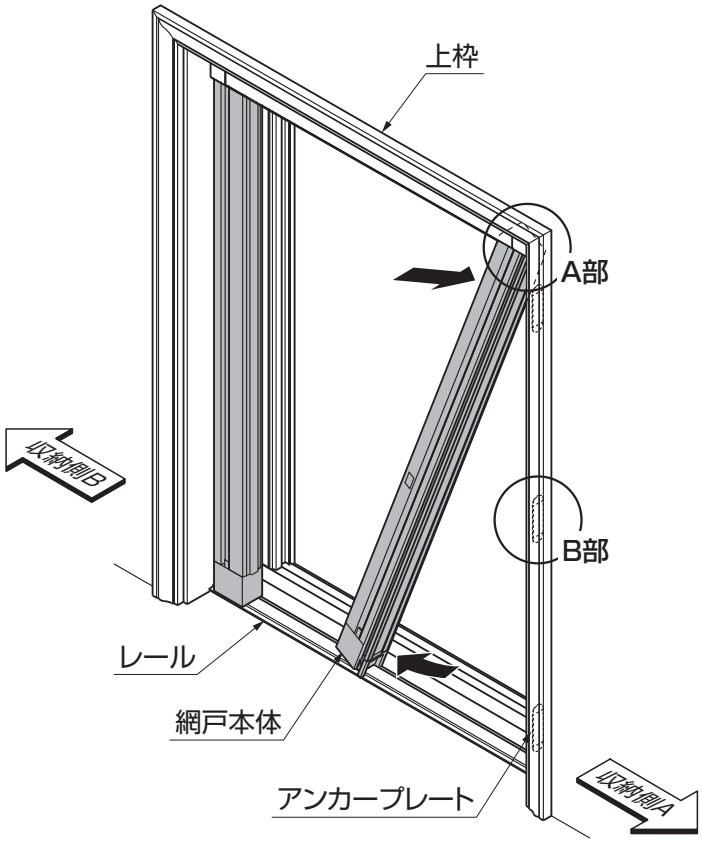


図3-1

①網戸本体の収納枠に両手をかけ収納側B方向に引っ張るとアンカープレートから収納枠が外れます。このとき、網戸本体をレールから少し浮かせて、左右どちらかの方向へひねると容易に取外すことができます。
②網戸本体を斜めにして上枠から取出します。

補 足

●網戸が3枚建・4枚建の場合は、本体連結部を取外してから上枠から取出します。

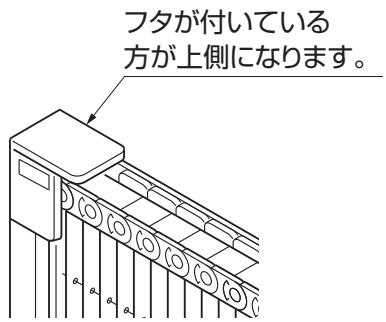


図3-2　A部詳細図

③取外しと同じように網戸本体を斜めにして上枠とレールの間に入れ、本体をレールに接触させながら収納枠をアンカープレートに「パチン」と音がするまで押しつけると溝とアンカープレートが接合し固定されます。

補 足

●網戸が3枚建・4枚建の場合は、召合せ側の本体（マグネットが付いている本体）から先に、上枠キャップより挿入してください。その後、もう一方の本体を挿入し、本体どうしを連結させてください。（手順を間違えると、連結できなくなります。）

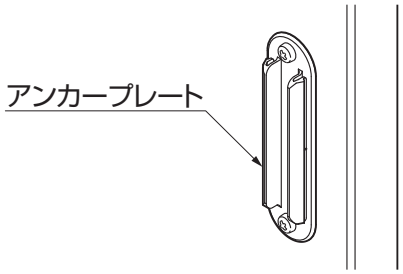


図3-3　B部詳細図

注 意

●網戸本体を取付けた後、網戸の収納枠を引いて、アンカープレートから外れないことを確認してください。

3 - 2 各種調整

（1）製品取付け後、網戸合掌部にすき間ができる場合

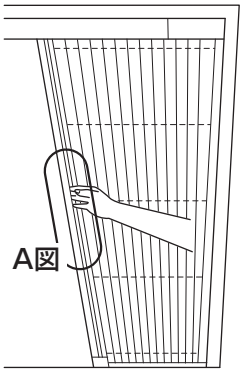


図3-4

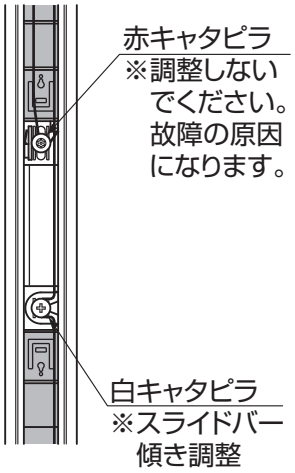


図3-5　A図詳細図

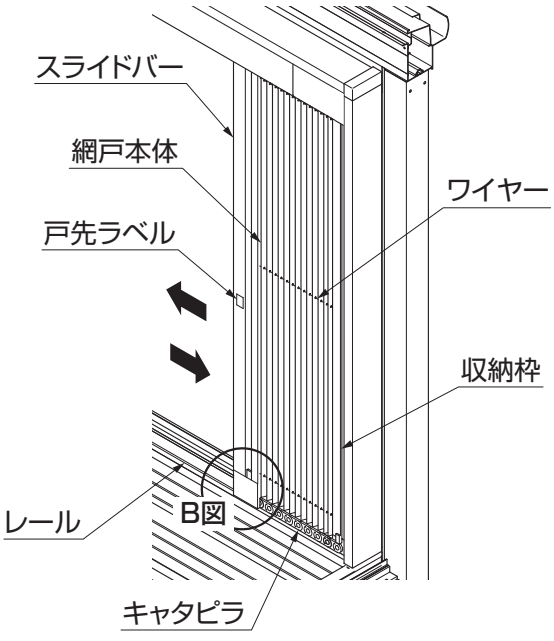


図3-6

①スライドバーの建付け調整ネジは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているマグネットホルダーを外してから調整します。

②スライドバー戸先面に付いている、マグネットホルダー下部とモヘアの間にマイナスドライバーの先端を斜めから差込み、持ち上げるとマグネットホルダーがスライドバーから外れます。外れた部分を持って下から引きはがすようにして上まで全部外します。

③白キャタピラの調整ネジをゆるめます。

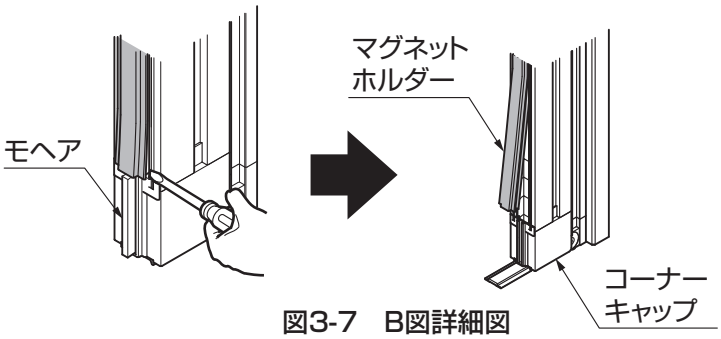


図3-7　B図詳細図

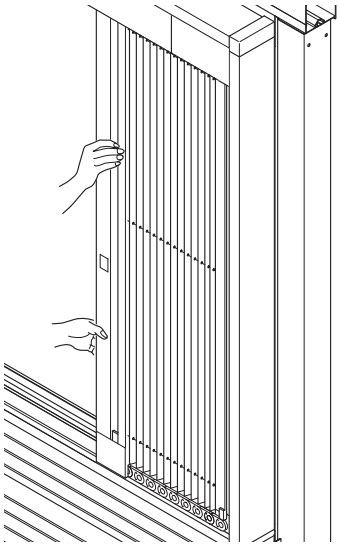


図3-8

④スライドバーの上下を持って傾きを調整します。
（図3-8参照）

⑤白キャタピラの調整ネジを締付け固定します。

お願い

●ネジは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますとネジが破損する場合があります。

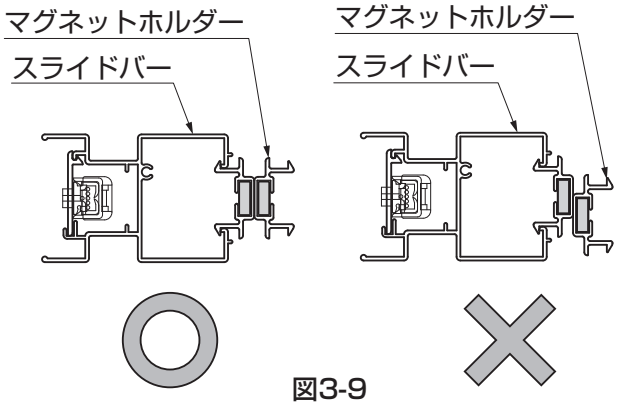


図3-9

⑥マグネットホルダーが引き分け本体のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

補足

●図3-9のようにマグネットホルダーがずれて固定される場合は、マグネットの溝を図3-10の通りにしてください。

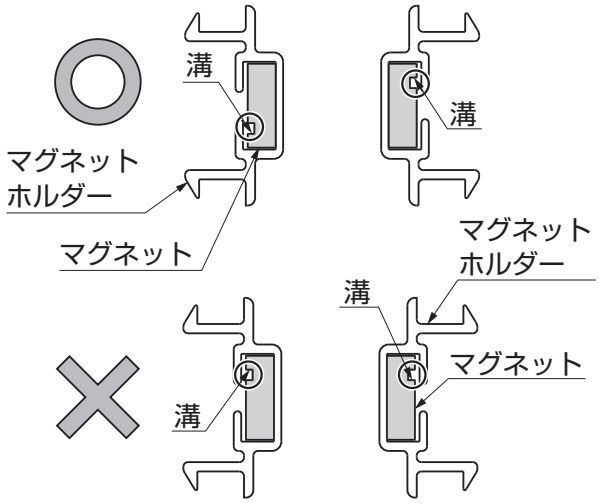


図3-10

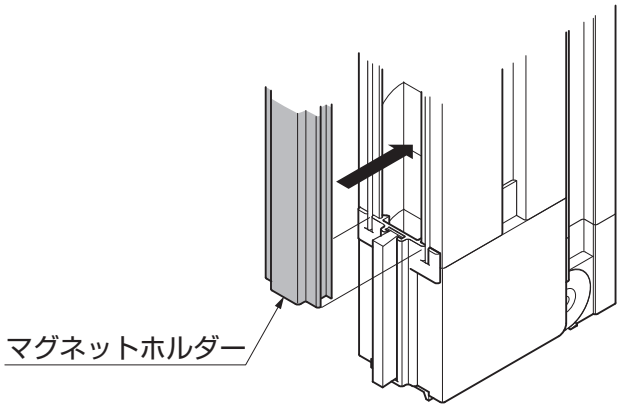


図3-11　マグネットホルダーの取付け

⑦すべての確認が完了したらマグネットホルダーを取付けます。

補 足

●マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ押付け取付けます。
●下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けます。

(2)キャタピラが外れてしまった場合

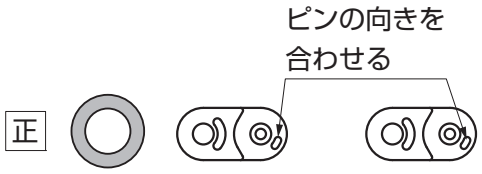


図3-12　網戸上部のキャタピラの向き

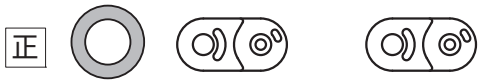


図3-13　網戸下部のキャタピラの向き

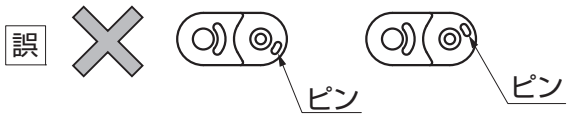


図3-14

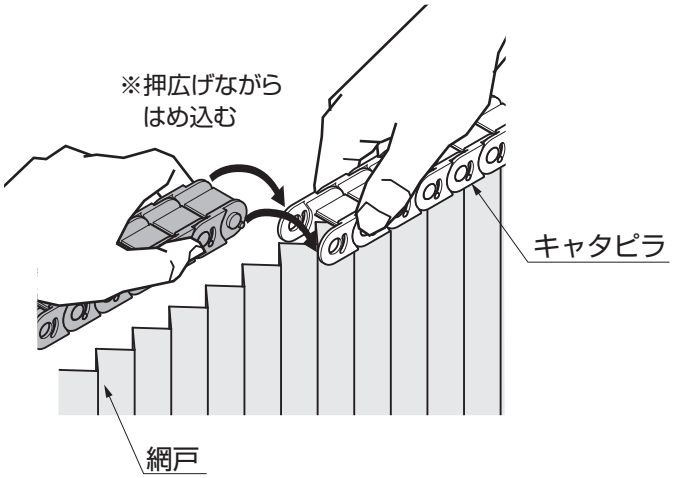


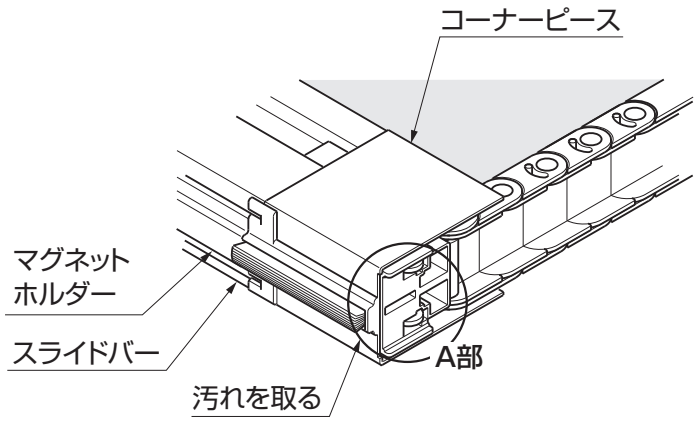
図3-15　キャタピラのはめ方

①キャタピラが外れてしまった場合には、図3-12、図3-13、図3-14を参照してキャタピラの向きに注意しながらはめ込みます。

補 足

●はめ込む時は、図3-15のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

3 - 3　異音発生時のお願い



①網戸の開閉の際にスライドバー下部より異音（キーキー音）が発生する場合があります。その場合は、スライドバー下部のコーナーピース（A部）が汚れていると思われますので、網戸本体を取外し、ブラシなどで汚れを取除いてください。

3 - 4　製品のお願い

お願い

●レールに強い衝撃を与えたり硬いものを当てないでください。レールが変形し、網戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。
●レールの上やレールの周りの小石、砂、ほこり等は取除いてください。
部品の磨耗、損傷を起こすおそれがあります。
●油などの潤滑材は使用しないでください。ほこり等が付着し、作動不良になるおそれがあります。
●網戸の近くで火を燃やしたり、加熱しないでください。網戸が溶けたり変形するおそれがあります。
●スライドバーに把手や錠をネジ止めしないでください。ネジがキャタピラに当たって動かなくなるおそれがあります。
●スライドバーを持上げながら開閉しないでください。網戸がレールからはずれてしまうおそれがあります。
●上枠中央付近でスライドバーを止めたまま長時間放置しないでください。上枠内の部品が変形して操作不良になるおそれがあります。
●網戸本体は分解、改造しないでください。網戸が破損したり、正しく組みなおすことができなくなります。
●網戸を取付ける際は上下を確認し、正しく取付けを行なってください。
無理に取付けようとすると破損の原因になります。
●網戸の近くに物を吊るさないでください。強風時や開閉時に網戸にぶつかり、破損の原因になります。

4　お手入れについて

補 足

●本製品は網戸を外して丸洗いできます。

(1)網戸パネルの清掃

①水洗いする場合は、スポンジ、毛先の柔らかいブラシ等でワイヤーを引っ掛けないように洗ってください。網をいためるおそれがあるたわし等の器具は使用しないでください。

②汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お 願 い

●水洗い後は、網戸本体を十分に乾燥させてください。濡れたまま使用すると再びほこり等が付着しやすくなり、開閉が重くなります。

●レール周りの小石･砂･ほこり等がたまりますと、部品の摩擦･損傷を引き起こし、網戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。こまめに清掃するようにしてください。

●シンナー･ベンジン等の有機溶剤は絶対使用しないでください。

5　修理を依頼する前に

●故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください。

このようなとき	点　検	処　置
網がキャタピラから はずれてしまった	強風時に使用していませんでしたか。	キャタピラから外れた箇所の網を手で戻してください。
開け閉めがしにくい	網戸パネルの底部に砂やゴミがつまっていませんか。	網戸パネルを取りはずし、下レールおよび網戸パネルの底部を清掃してください。
	下レールに砂やゴミがたまっていませんか。	

6 修理

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、「お客様相談センター」にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年 月 日	電話番号	
施工店名		そ の 他	

●消耗品は寿命があり、有償修理となります。

メモページ

TOEX

折戸用網戸　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL
〒136-8535　東京都江東区大島2-1-1

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   TOEXブランドで販売しているエクステリア商品
4. **保証内容**
   取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。
6. **免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①取付説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合（例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など）。
   ②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合（例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど）。
   ⑦環境が特に悪い地域又は場所に取付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。
   ⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、又はつるや根などの植物の害による不具合。
   ⑪使用者や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。
   ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談室にお問い合せください。

お客様相談センター

・商品のご購入・使い方などのご相談
・有償での修理と部品のご購入

0120-126-001　Fax03-3638-8447

受付時間‥‥月～金 9:00～18:00（祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く）

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行う場合がありますのでご了承ください。

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』（http://www.lixil.co.jp/privacy/）をご覧下さい。

取説コード
UZ232

JZZ615177A
200708A_1039
201108B_1039